

■主催者挨拶

桜井 正光 氏（日本の景観を良くする国民運動推進会議会長／
社団法人 経済同友会代表幹事）

日本の景観を
良くする国民運
動推進会議会長の
桜井でございます。
本日の全
国大会の主催者



であります日本の景観を良くする国民運動推進会議、そしてまちづくり月間実行委員会を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は皆様お忙しいところをご来席いただきまして、誠にありがとうございます。国土交通省金子大臣をはじめ、担当省庁の幹部の皆様、特別講演をいただきまます青木先生、パネリストの皆様など、多くの方々のご臨席を賜りまして、本当にありがとうございます。

さて、推進会議は、景観に関する我が国初の総合的な法律であります「景観法」が平成17年6月1日に施行されたことを受けまして、発足いたしました。地域住民、事業者、そして地方公共団体や国が一体となり、良好な景観づくりを継続的に国民運動として展開していくことを目的とした活動でございます。

また、まちづくり推進運動につきましては、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定めまして、以来26年間、住民の積極的な参画のもとに、総意と工夫を生かしたまちづくりを推進することを目的にした啓蒙活動でございます。

これまで毎年6月1日に開催していた「日本の景観を良くする国民運動推進会議全国大会」と、毎年6月に開催していました「まちづくり月間中央行事」とを合わせまして、新たに「日本の景観とまちづくりを考える全国大会」として開催する運びとなりました。良好な景観形成も、豊かで潤いあるまちづくりも、どちらも地域づくりに関連した活動でございます。本年は合同で開催することを決めたわけです。昨年に続きまして、多くの皆様のご参加のもと、本日の全国大会が開催できましたこと

は、私どもの喜びとするところでございます。

さて、一口に良好な景観、まちづくりと申し上げましても、いろいろな考え方、とらえ方があるかと思いません。私は常々、単に見た目の美しさだけではなく、人に優しい、地球に優しい、そして私たちの国民生活を豊かにする、そういう視点からまちづくりを推進していくこと、景観づくりを考えていくことが大事だと思っております。

皆様もご承知のように、人に優しいということは、安心して快適な生活が可能であるということです。また、近年、地球環境の保全の問題、特に温暖化防止、そのための低炭素社会づくりという活動が望まれています。

温暖化を防止しなければ、生態系、そして人間社会にも大変大きな影響を起こします。温暖化を防止することは、地球、自然を再生させることであるということ、私たちは強く考える必要があります。人間社会が自然と共生していくことが大変大事なことです。

現在、国は低炭素社会づくりの一環として、環境モデル都市を選定しております。これからのまちづくりにおいても、地球環境や自然との共生をしていくという視点から、ますます景観づくりが大事になってきているということを言わざるを得ません。地球に優しい、人に優しい、そして私たちの生活のためになる、私たち1人1人が全員参加で身近なところから実現していくことが大事だと思っております。

その意味でも、「日本の景観とまちづくりを考える」という活動は、これからますます我々にとっては重要な活動であることを考えていく必要があります。引き続き皆様方の絶大なる御支援をいただくことを心からお願い申し上げます。

本日は、都市景観大賞「美しいまちなみ賞、美の里づくりコンクール、自然公園写真コンクール、まちづくり月間関連各賞の表彰式が行われると聞いております。受賞者の皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、皆様の活動が美しい景観づくり、まちづくりに向けた国民的な運動に、さらに、さらに、つながることを心から期待しております。

最後に、本日の全国大会が実りあるものになりますよう祈念いたしまして、私のごあいさつとさせていただきますと思います。ありがとうございました。